

2025年3月期～2027年3月期

中期経営計画

少子高齢化社会の課題に挑戦し、地域社会を明るく元気にする

ミアヘルサホールディングス株式会社

(証券コード7129)

2024年6月10日

Appendix (補足資料)

1. 「中期経営計画2022」振り返り

- 主な経営経営指標の推移（連結・セグメント別）
- M&Aの推進
- 事業領域の拡大
- 収益構造の変化

2. 「中期経営計画2025」

- 主要3事業の市場機会（医薬・子育て支援・介護）
- 中期経営計画の基本方針
- 経営指標と数値計画
- セグメント別計画（医薬・子育て支援・介護）
- 財務戦略（資本政策・株主還元）
- 株主優待制度
- 人事戦略
- SDGsに関する取り組み

3. 会社概要

- 会社概要
- 創業の精神とパーパス
- 経営環境の変化とグループの変遷
- 沿革
- 事業拠点
- 組織体制・事業展開
- サービス対象者の範囲
- ミアヘルサグループが描く未来
- こども家庭庁の発足と子育て支援策の推進
- 「小1の壁」問題への対応
- 2024年新規開設事業所紹介

「中期経営計画 2022」 振り返り

(2022年3月期～2024年3月期)



「中期経営計画2022」振り返り



● 主な経営指標の推移（連結）

（単位：百万円）

| 経営指標 | 2021年3月期 | 2022年3月期 | 2023年3月期 | 2024年3月期 |
|---------|----------|----------|----------|----------|
| 売上高 | 16,754 | 19,510 | 22,249 | 22,722 |
| 営業利益 | 322 | 186 | 191 | 369 |
| 経常利益 | 340 | 189 | 169 | 374 |
| （経常利益率） | 2.3% | 0.96% | 0.75% | 1.64% |
| 当期純利益 | 478 | 291 | 209 | 5 |

● 売上高の推移（セグメント別）

（単位：百万円）

| 売上高 | 2021年3月期 | 2022年3月期 | 2023年3月期 | 2024年3月期 |
|-----------|----------|----------|----------|----------|
| ■ 医薬 | 8,730 | 8,784 | 8,986 | 9,307 |
| ■ 保育 | 3,926 | 6,412 | 8,874 | 9,162 |
| ■ 介護 | 3,238 | 3,409 | 3,444 | 3,324 |
| ■ その他（食品） | 860 | 905 | 945 | 929 |

● 資本政策と株主還元

| 回次 | 2021年3月期 | 2022年3月期 | 2023年3月期 | 2024年3月期 |
|--------|----------|----------|-------------|-------------|
| 自己資本比率 | 29.6% | 22.5% | 23.6% | 23.9% |
| 年間配当 | 25円 | 30円 | 30円 (+株主優待) | 30円 (+株主優待) |



M & Aの推進

ライフサポート株式会社（保育園等54施設運営）の完全子会社化(→2024.4.1吸収合併)により、保育事業がより強化され、新たに児童育成事業にも進出。

3ヵ年での子育て支援事業(保育+児童育成)の主な経営指標の推移

2021年3月期 実績

2024年3月期 実績

売上高 **3,926** 百万円

売上高 **9,162** 百万円 **2.3 倍** 

施設数 **30** 施設

施設数 **79** 施設 **2.6 倍** 

園児数(延べ/年間) **20,525** 人

園児数(延べ/年間) **36,605** 人 **1.8 倍** 

保育従事者数 **723** 人

保育従事者数 **1,740** 人 **2.4 倍** 





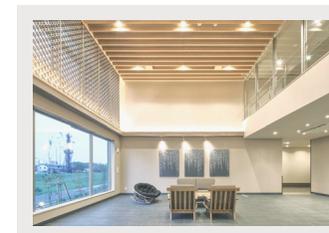
事業領域の拡大

医薬事業では、大学病院前／駅前クリニックモールへの調剤薬局開局に加え、感染症罹患患者専用窓口を設置。介護事業／保育事業では、ホスピス対応型ホームの開設のほか、「認可保育園+子育てひろば+介護と住まいの相談窓口」を駅前の複合施設内に開設するなど、少子高齢化社会における医薬・介護・子育てニーズの多様化に対応。

● 女子医大足立医療センター前の大型調剤薬局



● ホスピス対応型ホーム



● 駅前クリニックモール



● 感染症罹患患者専用窓口



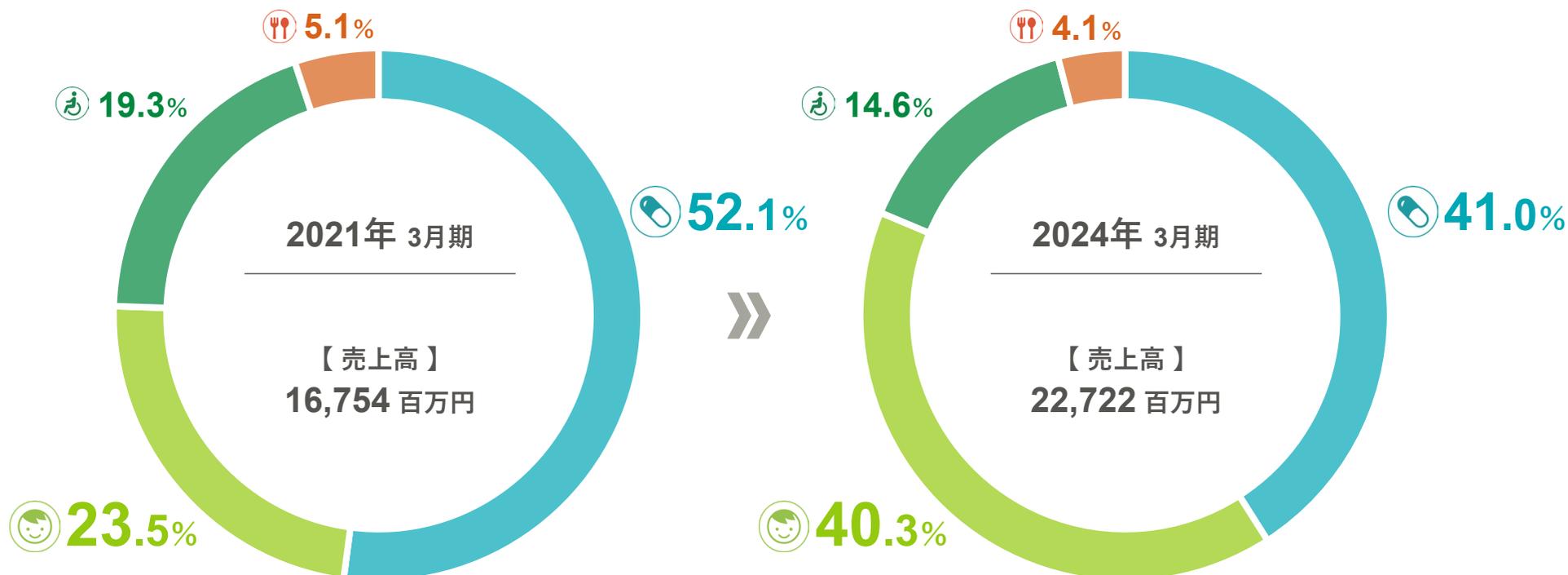
● 保育園 + 子育てひろば + 介護相談窓口





収益構造の変化

M&A（東昇商事、ライフサポート）の成功により、**子育て支援事業**（保育+児童育成）が充実、**医薬事業**と並ぶ収益の二本柱に成長し、『国の2大福祉政策である「子育て支援」と「高齢者支援」を地域に展開する』という当社グループのバリュー実現に向けて大きく前進。



(連結調整あり)

中期経営計画 2025

(2025年3月期～2027年3月期)

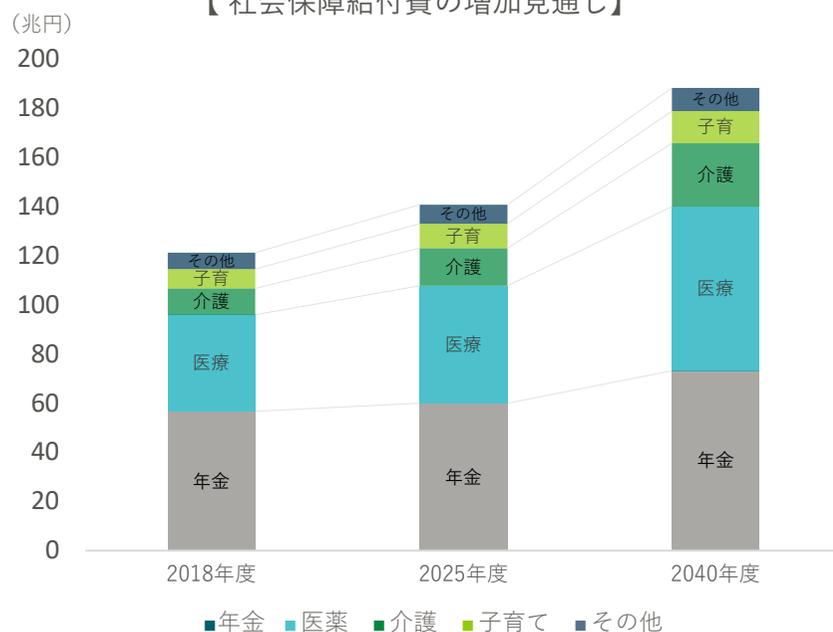




社会保障給付費

3事業の関連する社会保障給付費は、2018年の121兆円から2040年には188兆円と1.5倍に拡大することが予想されている。

【社会保障給付費の増加見通し】



【出所】厚労省「2040年を見据えた社会保障の将来見通し」

社会保障給付費の増加



「こども家庭庁」発足をはじめとする
政府・東京都による子育て支援策の推進



当社3事業の成長の機会

当社グループは、子育て支援・薬局・介護と生涯を支える3事業を展開することで、環境変化のリスクを補完し合えることが強み



バリュー

— ミアヘルサグループが提供する価値 —

国の2大福祉政策である「子育て支援」・「高齢者支援」を地域に展開する

持続的なバリュー提供のための基本方針

基本方針1

成長戦略の加速

ドミナント展開・事業部間連携による
シナジー効果を発揮し、企業価値向上に取り組む

- 同一区域への集中展開(市区町村ドミナント)と近隣市区への横展開(沿線ドミナント)の実施
- 「薬局×介護施設」・「薬局×保育園」・「保育園×介護施設」など事業部間連携の推進

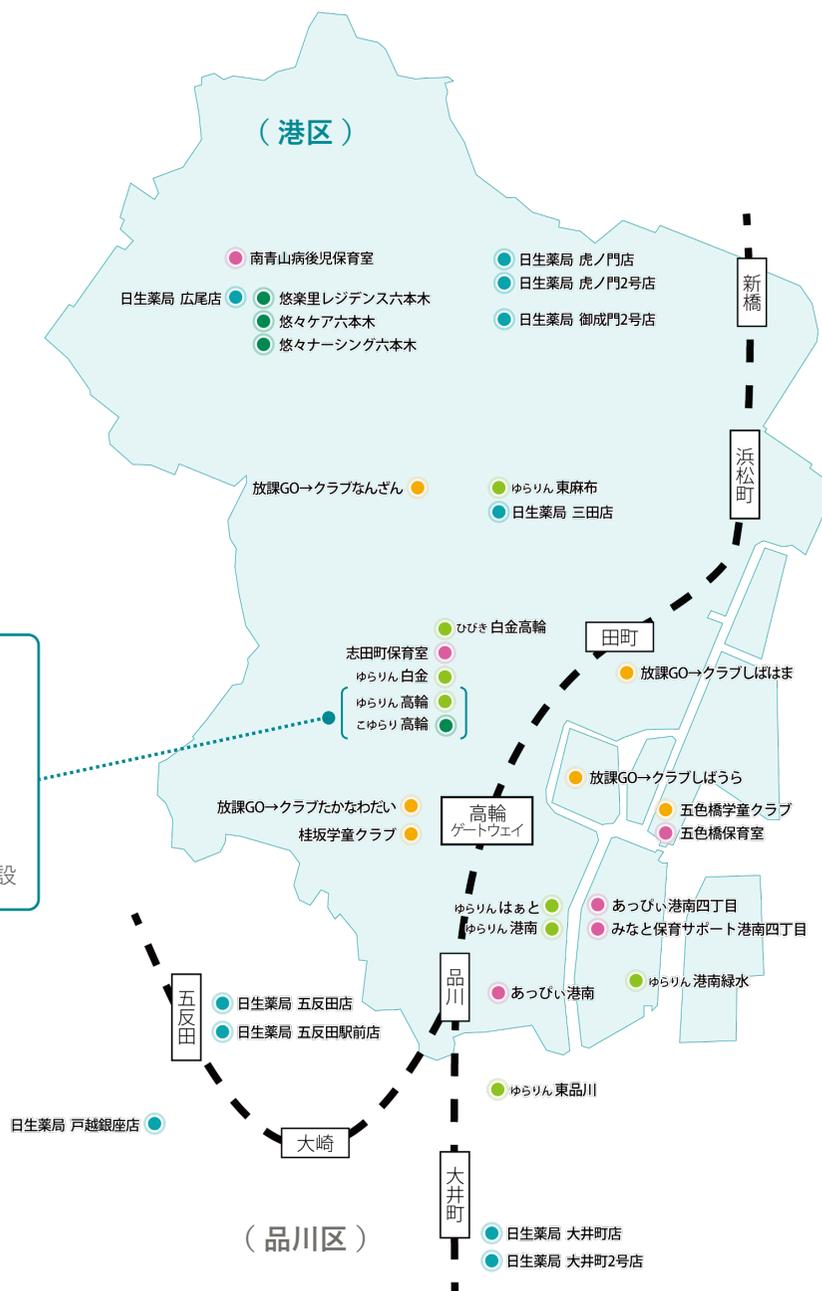
基本方針2

経営基盤の強化

営業利益率の向上により、
持続的な成長と安定的な経営基盤を構築する

- 不採算事業所の整理・統合
→ 認証保育所の認可化など
- ICT、DXの活用による業務の効率化
→ 間接部門の適切な人員配置(省人化)など

中期経営計画の基本方針（ドミナント展開の事例）



HUG高輪

「保育園+高齢者施設」の複合施設

－ 港区エリア －

合計 **28** 施設運営

- 子育て支援施設 × 6 施設
- 学童クラブ × 6 施設
- 保育園 × 7 園
- 介護事業所 × 4 施設
- 調剤薬局 × 5 店舗



－ 品川区エリア －

- 調剤薬局 × 5 店舗
- 保育園 × 1 園



● 主な経営指標の推移（連結）

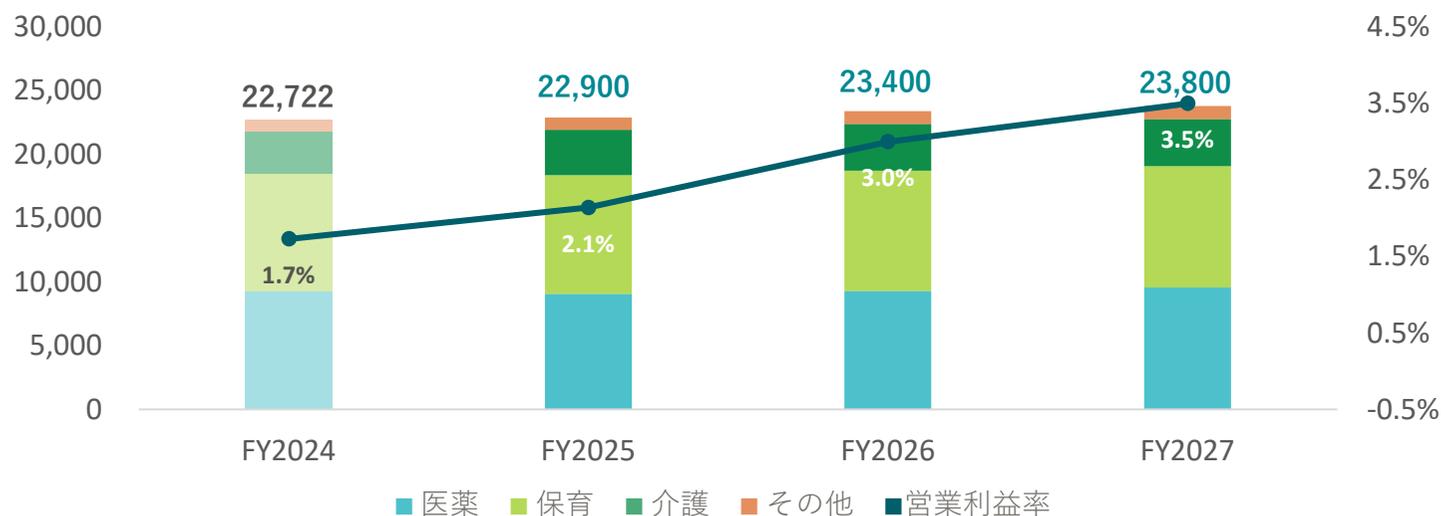
（単位：百万円）

| 経営指標 | 2024年3月期（実績） | 2025年3月期 | 2026年3月期 | 2027年3月期 |
|---------|--------------|----------|----------|----------|
| 売上高 | 22,722 | 22,900 | 23,400 | 23,800 |
| 営業利益 | 395 | 490 | 690 | 830 |
| （営業利益率） | 1.73% | 2.14% | 3.0% | 3.5% |
| 経常利益 | 374 | 480 | 690 | 830 |
| 当期純利益 | 5 | 290 | 430 | 520 |
| ROE | 0.2% | 7.7% | 10.4% | 11.4% |

（単位：百万円）

売上高の推移（連結）

（営業利益率%）





● セグメント売上高／セグメント利益の推移

(単位：百万円)

| 経営指標 | 2024年3月期 (実績) | 2025年3月期 | 2026年3月期 | 2027年3月期 | |
|-----------------|---------------|----------|----------|----------|--------|
| ■ 医薬 | (売上高) | 9,307 | 9,080 | 9,300 | 9,570 |
| | (営業利益) | 545 | 550 | 590 | 640 |
| ■ 子育て支援 (保育) | (売上高) | 9,162 | 9,290 | 9,430 | 9,520 |
| | (営業利益) | 684 | 810 | 880 | 940 |
| ■ 介護 | (売上高) | 3,324 | 3,560 | 3,670 | 3,690 |
| | (営業利益) | ▲131 | 0 | 72 | 90 |
| ■ その他 | (売上高) | 929 | 970 | 1,000 | 1,020 |
| | (営業利益) | 28 | 30 | 32 | 37 |
| ■ 調整額 | (売上高) | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | (営業利益) | ▲730 | ▲900 | ▲884 | ▲877 |
| 全社合計 | (売上高) | 22,722 | 22,900 | 23,400 | 23,800 |
| | (営業利益) | 395 | 490 | 690 | 830 |



市場環境

- 大手ドラッグストアによる調剤部門・在宅分野への進出 や 異業種からの薬局事業への参入により顧客（患者様）の獲得競争が激化。
- 2024年診療報酬・薬価改定におけるマイナス改定の影響で調剤薬局の収益が減少。

重点施策

- ✓ 集客率・収益率の高い医療モールへの出店を推進。高度薬学管理の実績により、病院やクリニックとの信頼関係を強化し、信頼される薬局ブランドを構築する。
- ✓ 「外来がん治療認定薬剤師」・「緩和薬物療法認定薬剤師」など専門認定薬剤師を育成し、末期がん・難病患者等からの信頼獲得 → 当社のホスピス対応型ホームとの連携。
- ✓ かかりつけ薬剤師／地域連携薬局 等の認定取得、在宅医療の推進等により加算点数の取得強化。

ポイント

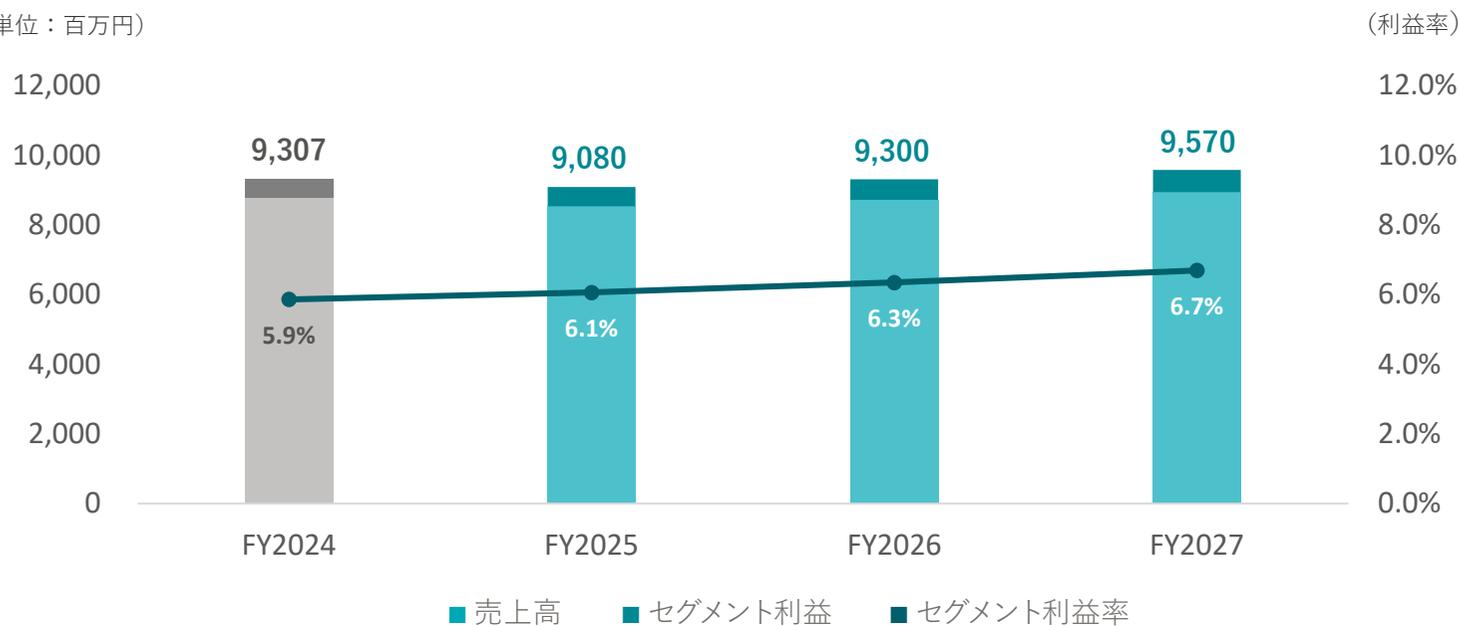
医療機関や自社グループ運営施設との連携を強化、競合他社との差別化を図るとともに、加算の取得強化に取り組む



(単位：百万円)

| 経営指標 | 2024年3月期 (実績) | 2025年3月期 | 2026年3月期 | 2027年3月期 |
|---------|---------------|----------|----------|----------|
| 売上高 | 9,307 | 9,080 | 9,300 | 9,570 |
| セグメント利益 | 545 | 550 | 590 | 640 |
| (利益率) | 5.9% | 6.1% | 6.3% | 6.7% |
| 施設数 | 42 | 44 | 46 | 48 |

(単位：百万円)





市場環境

- 少子化が進み保育園の「待機児童」は減少しつつあるものの「待機学童」問題が顕在化。女性の就業者数の増加と合わせて、首都圏では依然として子育て支援ニーズは高い。

重点施策

- ✓ 国や東京都の子育て支援方針に柔軟に対応し、子どもたちの成長に繋がる活動（「とうきょうすくわくプログラム」等）を取り入れることで加算の取得や補助金の獲得につなげていく。
- ✓ 東京都による「認証学童クラブ制度」創設（2024年度を予定）に伴い、将来の認定取得に向けた準備・環境整備を行っていく。

ポイント

自治体の方針に則った活動・サービス展開により、子育て支援の質の向上を図り、自治体・保護者から選ばれる保育園・学童クラブを目指す

子育て支援事業 数値計画

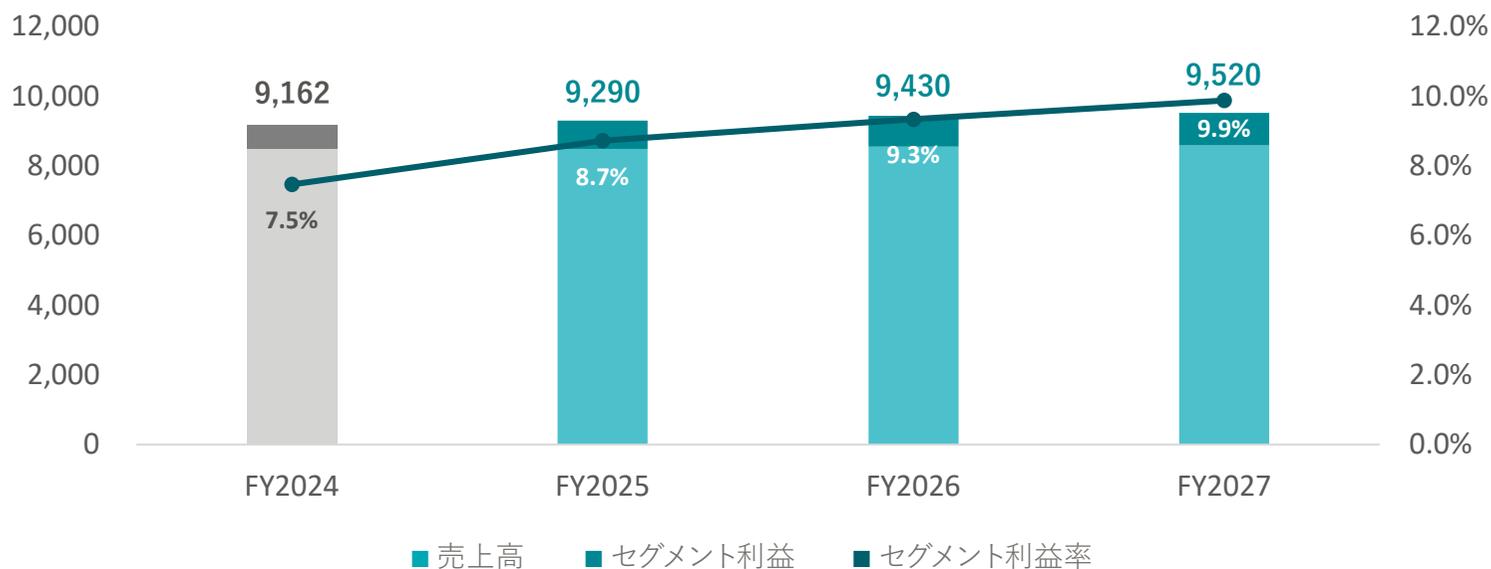


(単位：百万円)

| 経営指標 | 2024年3月期 (実績) | 2025年3月期 | 2026年3月期 | 2027年3月期 |
|---------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 売上高 | 9,162 | 9,290 | 9,430 | 9,520 |
| セグメント利益 | 684 | 810 | 880 | 940 |
| (利益率) | 7.5% | 8.7% | 9.3% | 9.9% |
| 施設数 | 79 (保:68/児:11) | 79 (保:68/児:11) | 80 (保:69/児:11) | 84 (保:71/児:13) |

(単位：百万円)

(利益率)





市場環境

- 超高齢化社会が進み（団塊の世代が後期高齢者となり）、介護ニーズが多様化
→ 看取り対応や、末期がん患者・難病患者への対応、医療サービス等への需要が増している。
- 2024年の介護報酬改定では、（介護報酬+1.59% + 物価高騰加算+0.45%の）実質2.04%相当の引き上げとなり、介護報酬や加算が手厚くなっている。

重点施策

- ✓ ホスピス対応型ホームにて、末期がん患者や神経難病（パーキンソン病）患者を受け入れ、看取りにも対応することで「終の棲家」として機能させ、病院からの退院患者受け入れを増やしていく。
- ✓ 介護予防（自律支援／重度化防止）から看取りまで連続性・一貫性のあるサービスを提供し、他社との差別化を図ることで、病院・ケアマネ事業所等との関係を強化していく。

ポイント

当社グループの長年の強みである「自律支援」、**「看取り対応、末期がん・難病患者への対応」**を強化することで他社との差別化を図り、**加算算定への対応**を行っていく

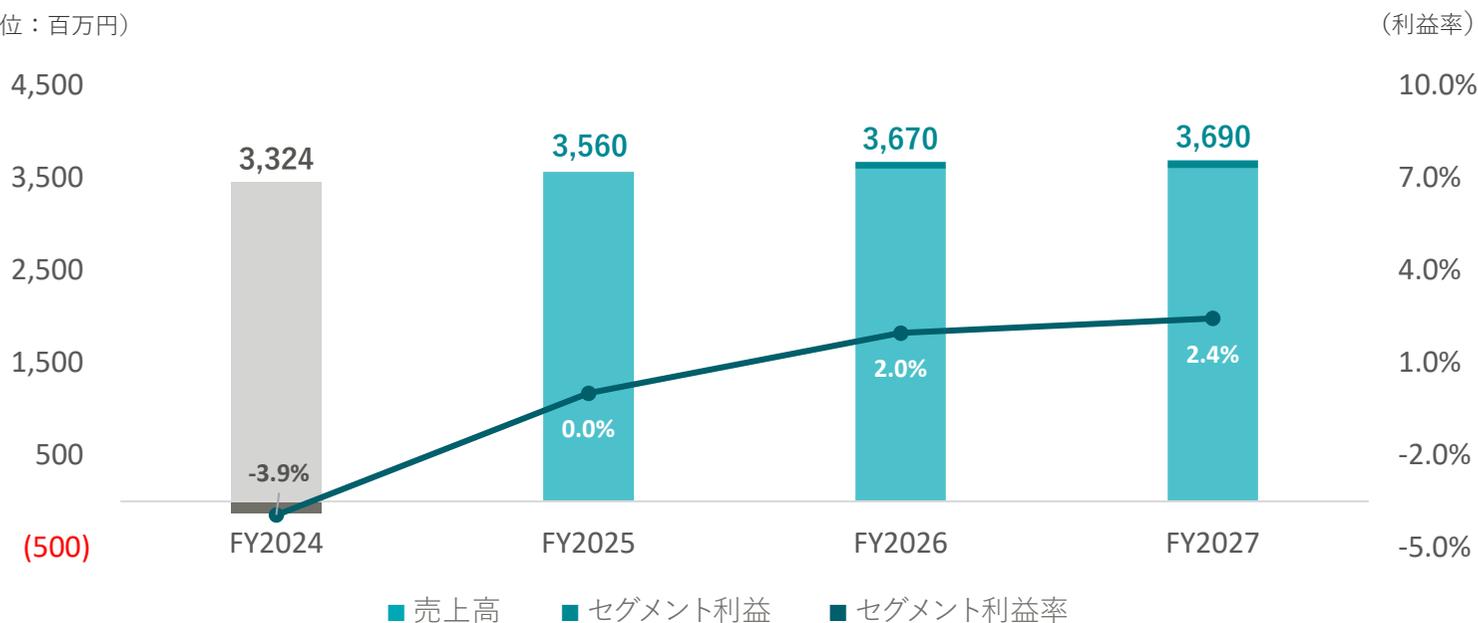
介護事業 数値計画



(単位：百万円)

| 経営指標 | 2024年3月期 (実績) | 2025年3月期 | 2026年3月期 | 2027年3月期 |
|---------|---------------|----------|----------|----------|
| 売上高 | 3,324 | 3,560 | 3,670 | 3,690 |
| セグメント利益 | ▲131 | 0.39 | 72 | 90 |
| (利益率) | ▲3.9% | 0.0% | 2.0% | 2.4% |
| 施設数 | 65 | 65 | 65 | 65 |

(単位：百万円)



財務戦略と配当方針

資本政策・株主還元・株主優待制度・人事戦略





資本政策・株主還元

市場の環境変化に対応し、安定した組織運営とサービス提供を維持するため自己資本の充実を図る。
また、2025年3月期以降も1株につき30円（以上）の安定配当を継続していく。

2024年3月期 実績

自己資本比率 **23.9 %**

純資産 **33 億円**

年間配当 **30 円**
(13円+17円)

2027年3月期 目標

自己資本比率 **35.0 %**

純資産 **45 億円**

年間配当 **30 円 以上**



優待特典

株主優待制度として、9月30日現在の当社株主名簿に記載または記録された1単元（100株）以上保有された株主様に対して、次の通り、当社オリジナルQuoカードを贈呈させていただきます。
また、将来に向けて、株主優待制度の拡充についても検討してまいります。



| 保有株式数 | 優待特典Quoカード | 基準日 |
|---------|------------|------|
| 100 株以上 | 1,000円分 | 9月末日 |
| 200 株以上 | 2,000円分 | |
| 300 株以上 | 3,500円分 | |



重点施策

「働きがい」のある安全で健康な職場づくりに取り組み、働き方改革とダイバーシティの推進により生産性向上を目指す。

2024年3月期 実績

女性管理職の比率

35%



男性社員の
育児休業取得率

50%



2027年3月期 目標

女性管理職の比率

40% 以上



男性社員の
育児休業取得率

50% 以上



経営理念に基づき、事業戦略を推進することによって、
SDGsの下記4ゴールの目標を達成してまいります



3 すべての人に
健康と福祉を



子育て支援・医薬・介護の各事業部が連携し、自治体や医療機関、関連企業との協業により、健康で安心した生涯を支える医療・福祉事業を展開します。

4 質の高い教育を
みんなに



子育て支援・医薬・介護事業に携わる人材を充実した教育制度で、誇りと責任感のある専門人財に育成し、地域社会に貢献していきます。

5 ジェンダー平等を
実現しよう



性別に関係なく社員が仕事と子育てを両立させることができ、全社員が能力を十分に発揮できるよう働きやすい職場環境をつくりまします。

11 住み続けられる
まちづくりを



住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けるように「住まい・医療・介護・予防・生活支援」を一体的に提供し、あらゆるケアニーズに応えていきます。

Appendix

補足資料（会社概要）



会社概要



社名

ミアヘルサホールディングス株式会社

設立

2021年10月1日 (※ミアヘルサ株式会社：1984年9月12日 設立)

代表者

取締役会長 青木 勇 (創業者)

代表取締役社長 青木 文恵

主な事業内容

医薬事業 (調剤薬局・在宅服薬指導)

子育て支援事業 (保育園・学童クラブ・子育て支援施設 等の運営)

介護事業 (在宅サービス・居住系サービス)

その他 (食品事業 ほか)

グループ会社

ミアヘルサ株式会社

従業員数

2,695名 (2024年4月現在) ※グループ連結 (パート社員を含む)

所在地

東京都新宿区市谷仲之町3-19



創業の精神

人の幸せづくり

企業の存在価値

パーパス

子どもから高齢者まで全世代が繋がり、お互いを支え合う
地域づくりに貢献する

目指す姿

ビジョン

健康・安心・絆のライフラインを構築する

パーパス実現のための行動

ミッション

少子高齢化社会の課題に挑戦し、
地域社会を明るく元気にする

提供価値

バリュー

国の2大福祉政策である
「子育て支援」と「高齢者支援」を地域に展開する

経営理念

私が変わる愛の経営「響働」

取り組み

各事業部ごとの施策（→ 地域包括ケアを展開）

時代のニーズに応じた社会保障事業に進出 国の2大福祉政策である「子育て支援」と「高齢者支援」を展開



会社沿革 (1966年～2014年)

1966年 給食普及会 創業

→ 小中学校給食卸業 開始



1984年 (株)日本生科学研究所 (現ミアヘルサ) 設立

 **医薬** 事業本部 設立

「くすりの日生薬局(日生薬局 駒込店)」開局



1998年 大型駅前薬局「日生薬局 河田町店」開局

→ 「医薬分業」本格スタート



1999年  **介護** 事業本部 設立

→ 居宅介護支援・福祉用具サービス等 開始



2005年 「日生薬局 牛込店」に無菌調剤室を設置

→ HIT事業 (在宅輸液療法) を開始



2007年 「和光市新倉高齢者福祉センター」指定管理運営受託

2011年  **食品** 事業本部 設立

→ 給食普及会を合併



 **保育** 事業本部 設立

「日生保育園ひびき」を開園



サービス付き高齢者向け住宅「オアシス和光」開設

→ 国土交通省「高齢者居住安定化モデル事業」

地域包括ケア - 第1号 -

官民協働モデル



2012年 「和光市新倉高齢者福祉センター」に

天皇皇后両陛下(上皇ご夫妻)が御行幸啓



2014年 「ケアヴィレッジひばりが丘」開設

→ 「都市住宅学会賞 業績賞」受賞

地域包括ケア - 第2号 -

UR都市機構 団地再生モデル



会社沿革 (2015年～2024年)

2015年

安倍元内閣総理大臣が「オアシス和光」を視察



2017年

「オアシス柏豊四季」開設

地域包括ケア - 第3号 -

地域交流モデル



2019年

社名を「ミアヘルサ株式会社」に変更



2020年

東証 JASDAQスタンダード市場に上場
(株) 東昇商事を完全子会社化

→ 保育所 6 施設運営



「オアシス東新小岩」に在宅ホスピスフロアを開設



2021年

「メディケアオアシス新百合ヶ丘」開設

→ ホスピス対応型ホーム



ライフサポート(株)を完全子会社化

→ 保育所等54施設運営



2022年

「ミアヘルサホールディングス株式会社」に移行



(株) 東昇商事を吸収合併

東証スタンダード市場に区分変更

「びゅうリエット新小岩」開設

地域包括ケア - 第4号 -

JR東日本・自治体協働モデル



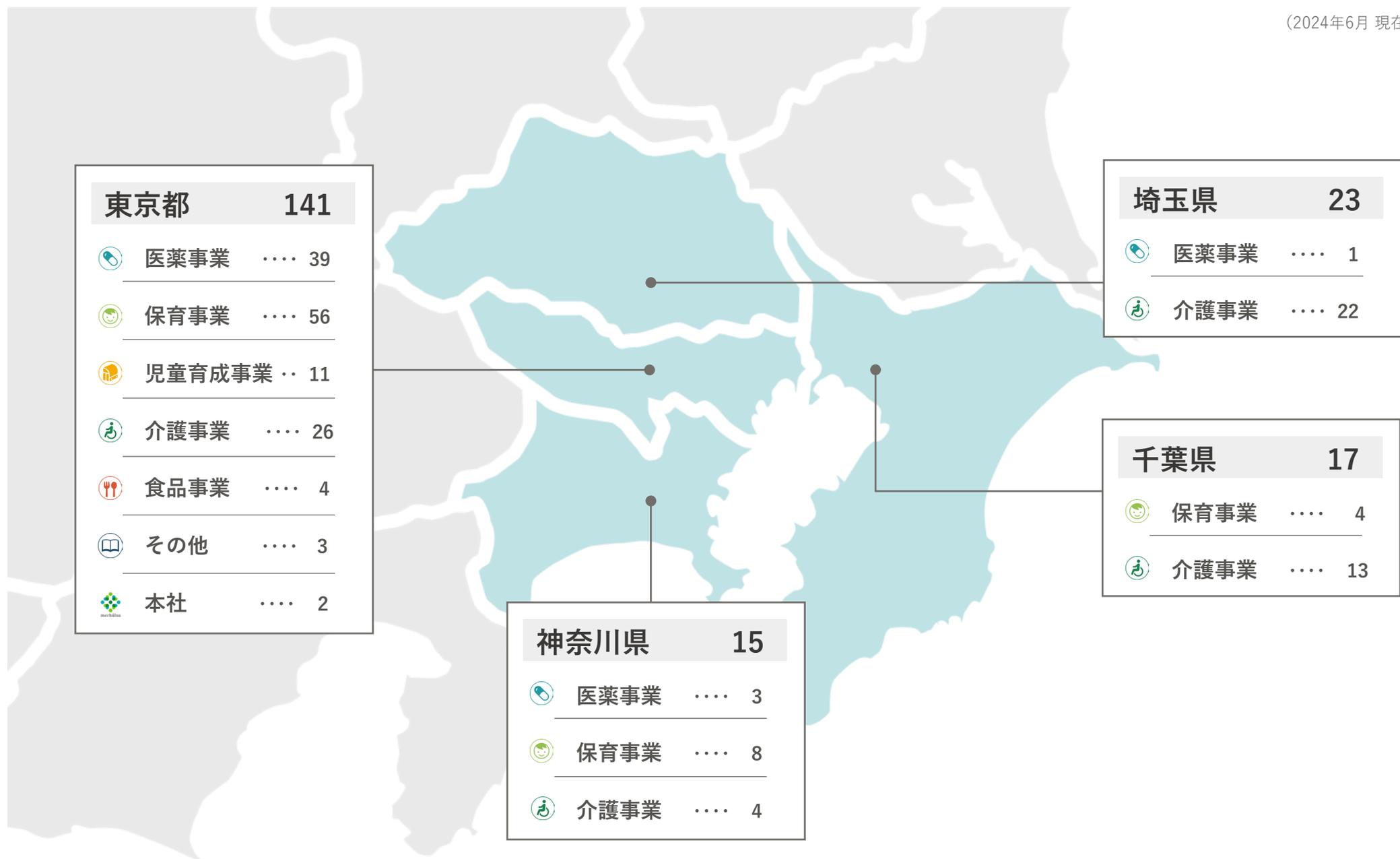
2024年

ライフサポート(株)を吸収合併

 児童育成 事業部 設立

事業拠点 (196 拠点)

(2024年6月 現在)



社名の「ミアヘルサ」とは、福祉先進国スウェーデンの言葉で「もっと健康に」を意味しています



(※自体受託事業を除く)

ミアヘルサグループのサービス対象者の範囲

0歳

幼児

小学生

中学生

大人

高齢者

 医薬

薬局・健康相談・栄養相談

(子育て支援サービス)

 保育

保育園

 児童育成

学童クラブ

 介護

介護サービス

 食品

保育園・小中学校・高齢者施設への食材卸、その他食品サービス(生活支援)

0歳児から高齢者まで全世代を幅広くカバー

健康・安心・絆のライフラインを構築する



エリア

中学校区域

連携

- 自治体
- 特養
- 老健
- 病院
(クリニック・診療所)
- 郵便局・銀行
- スーパー・コンビニ
- 小・中・高校生
- ボランティア
- 民生委員・自治会
- その他地域住民

子育て支援 サービス



保育

- ▶ 認可保育園
- ▶ 認証保育園
- ▶ 指定管理運営
- ▶ ひろば



児童育成

- ▶ 学童クラブ
- ▶ 放課後子ども教室



医薬

- ▶ 調剤薬局
 - * 地域連携薬局
 - * 健康サポート薬局
- ▶ 健康相談・栄養相談
- ▶ 在宅医療、HIT



食品

- ▶ 保育園・小中学校食材卸
- ▶ 宅配サービス（銀のさら）



介護

居住系 サービス

- ▶ サ高住
- ▶ グループホーム
- ▶ ホスピス
対応型ホーム

在宅 サービス

- ▶ 定期巡回
- ▶ 訪問介護
- ▶ 訪問看護
- ▶ 小規模多機能
- ▶ 訪問入浴
- ▶ デイサービス
- ▶ ケアプラン
- ▶ 地域包括支援センター

「こども家庭庁」発足と子育て支援策の推進

(※当社グループで対応できるサービス)

こどもまんなか こども家庭庁

官房長官(企画立案)

- 子ども政策の予算
- 子供の意見を政策に反映

子ども成育局

- 妊娠や出産の支援
- 保育所や認定こども園の整備
- 学童や子どもの居場所の整備

子ども支援局

- 虐待防止・ヤングケアラーの支援
- 子どもの貧困対策
- 未就園児への対応
- 障がい児への支援

期待されるメリット

- ✓ 厚生労働省・文部科学省など複数に分かれていた窓口が一元化され、行政手続きが簡素化・効率化
- ✓ 保育・子育て支援策の拡充による子育てニーズの増加
- ✓ 待機児童問題の解消や、多様化した保育ニーズに対応するための整備・運営助成金の拡充
- ✓ 保育士・児童指導員の処遇改善による人材の確保・定着
- ✓ 官民連携による新たな事業展開の機会
- ✓ 保育・子育てに関する社会全体の意識改革



「小1の壁」とは

(保育園に預けていたころと比べ、小学校では下校時間が早くなるため) **子どもが小学校に通い始めたときに、仕事と子育ての両立が難しくなる問題**。これは多くの保護者が直面する問題で、保育園児の保護者の90%以上が小学校入学のタイミングで仕事との両立に不安を感じています。



「小1の壁」



- ・小学校にあがると、預けられる時間が保育園のときよりも2~4時間短くなる
- ・放課後学童クラブの約4割は18:30までしか開所していない



当社グループが運営する一部の民営学童クラブは、**最大21:00まで開所**しているため、保護者が勤務を早退することなく、子どもを安心して預けることができます。

2024年 新規開設事業所

日生薬局 新御徒町店



【最寄り駅】 つくばエクスプレス
「新御徒町駅」徒歩1分
JR「御徒町駅」徒歩10分

駅近の**クリニックモール**1Fに開局
(2F:内科、3F:耳鼻咽喉科)

練馬区 光が丘四季の香小ねりっこクラブ



【最寄り駅】 都営大江戸線
「光が丘駅」徒歩8分

東京都練馬区光が丘四季の香小学校内の
学童クラブを受託運営

日生薬局 立川店



【最寄り駅】 JR「立川駅」徒歩5分
立川高島屋S.C. 10F

大型ショッピングセンターの**クリニック**
モール内に開局

ミアヘルサ保育園ひびき 羽沢横浜国大



【最寄り駅】 相鉄新横浜線
「羽沢横浜国大」徒歩1分

駅前立地の大型複合施設（商業施設・マンション）
の2Fに入る**認可保育園**



本資料には、当社グループに関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。

これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により実際の業績が本資料の記載と著しく異なる可能性があります。

別段の記載がない限り、本資料に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。

当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。

当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。



お問い合わせ先

ミアヘルサホールディングス株式会社
IR担当窓口

| | |
|--------|---|
| TEL | 03-3341-7205 |
| E-mail | contact-ir@merhalsa.jp |
| ホームページ | https://www.merhalsa-hd.jp/ir/inquiry/ |